

1 題材名 生活を豊かにするための工夫をしよう

2 目標

- 布を用いた物の製作に関心をもって取り組み、自分や家族の生活を豊かにしようとする。
(生活や技術への関心・意欲・態度)
- 衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫している。
(生活を工夫し創造する能力)
- 安全で能率よく、布を用いた物の製作をすることができる。
(生活の技能)
- 布を用いた物の製作に関する知識を身に付けている。
(生活や技術についての知識・理解)

3 題材について

本題材では、身近な衣服の材料である布を用いた物の製作を通して、自分の家族の生活を豊かにするための工夫ができるようにする。また、これからの生活を展望し、課題をもって衣生活や住生活を工夫し、実践しようとする意欲と態度を育てることをねらいとしている。

本学級の生徒は、ほとんどの生徒が衣・住生活の学習に意欲的に取り組むことができる。また、自分たちの生活を振り返り、課題を考えたり、学び合いを通して、友達と相談して改善点を見出したりすることができる。しかし、身に付けた知識や技術を実生活で活用できているかという点、家族に任せてしまっていて活用できていない生徒が多いように感じられる。

そこで、アンケートを実施したところ、以下のような結果が得られた。

- 1 小学校家庭科で習った衣生活について覚えていることはありますか。(複数回答可)〈関〉
エプロンを作った…15名、トートバッグを作った…20名、ボタンつけ…31名
洗濯をした…33名、ランチョンマットを作った…19名 多数回答のみ記載
- 2 裁縫道具や裁縫ミシンを適切に扱うことができますか。〈知・技〉
できる…11名 だいたいできる…22名 できない…7名
- 3 手縫いやミシン縫いなど、習得した技術を家庭で活用し、生活を豊かにする手立てとすることはありますか。〈工〉
・手縫い ある…12名、ときどきある…4名、ほとんどない…13名、ない…11名
・ミシン縫い ある…0名、ときどきある…5名、ほとんどない…7名、ない…28名
(平成*年*月*日調べ *年*組*名)

ほとんどの生徒が、小学校で学習したこととして「エプロンを作った」、「バッグを作った」などの被服製作を行ったことを多く挙げた。布を用いた物の製作に関心をもっていることがアンケートより分かる。しかし、各小学校において取り上げた題材は様々であり、身に付けている能力にも個人差があることが把握できる。また、実際に普段から家庭においてミシンを用いたり、手縫いの作業をしたりする生徒はほとんどいないことも分かった。

そこで、題材の学習を通して、身の回りには布でできた物が多様にあることや、それが生活を豊かにしていることに気付かせたい。さらに、生活を豊かにするための作品を製作することで構成や作り方を考えるとともに自分で作った物に愛着をもたせたい。そして、このような実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的・基本的な知識や技術の習得をすることによって、本校の研究主題「確かな学力の育成」に迫りたい。

4 本題材の学び合い

本題材では、身の回りの布を用いた物に焦点を当て、生活を豊かにしてくれる物を考え、製作する。製作の過程で、グループ内で考えをまとめたり、教え合ったりする活動を通し、自分の考えや分かったことを友達に伝え、表現力豊かな作品を製作させたい。

5 学習計画と評価の観点（22時間扱い）

第1次 衣生活と自立・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10時間

第2次 住生活と自立・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間

第3次 生活を豊かにするための工夫をしよう・・・・・・・・・・10時間

時	本時のねらい	観 点				観 点 別 の 評 価 基 準 等		
		関	工	技	知	B：おおむね満足	A：十分満足	C：努力を要する生徒への具体的な手だて
1	○ 布を使って生活を豊かにする物を考えようとする。	○				●布を用いた物の製作に関心をもって取り組み、自分や生活を豊かにしようとする。(評価カード)	●布を用いた物の製作に関心をもって取り組み、自分や生活を豊かにしようとする。	●身近にある布を用いた物を知ることで、自分や生活にどのように関わっているかを助言する。
2	○ 製作の計画を立てることができる。				○	●布を用いた物の製作に関する知識を身に付けている。(学習シート)	●布を用いた物の製作に関する知識を身に付け、計画に生かしている。	●製作に当たって、必要な知識について要点をまとめられるようにする。
			○			●衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、自分なりに工夫している。(計画表)	●衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫している。	●説明書や具体物を用いて、製作過程をイメージしやすいようにして計画できるようにする。
3 ～ 8 (本時は第6時)	○ オリジナルケースを作ることができる。	○				●自分や生活の衣生活又は住生活に関心を持ち、製作や調査などの計画と実践に取り組もうとする。(評価カード)	●自分や生活の衣生活又は住生活をよりよくすることに興味を持ち、課題を主体的にとらえ、製作や調査などの計画と実践に取り組もうとする。	●グループの友達の考えを聞いたり、計画や実践を見たりすることでヒントが得られるようにする。
					○	●目的に応じた縫い方や製作手順について理解している。(観察・進捗チェックカード)	●目的に応じた縫い方や製作手順について、すぐに作業に取りかかることができるくらいに理解している。	●適切な縫い方について、実際に手元で模範を示し、製作に当たれるようにする。
			○			●自分や家族の衣生活又は住生活について課題を見付け、製作や調査などの計画を自分なりに工夫している。(作品・評価カード)	●自分や家族の衣生活又は住生活について課題を見付け、その解決を目指して製作や調査などの計画を自分なりに工夫している。	●生活の中で生活をより豊かにするための課題は何か、自分の生活を振り返って考えられるようにする。
				○	●目的に応じた縫い方や用具の安全な取扱いをしている。(観察・作品)	●安全で能率よく布を用いた物の製作ができ、目的に応じた縫い方や用具の安全な取扱いをしている。	●部分に応じた縫い方や用具の安全な取扱い方について、事例を提示して説明する。	

6 本時の学習

(1) 目 標

オリジナルケースのポケット部分に、スナップを適切に付けることができる。

(生活の技能)

(2) 本時の学び合いのねらい

分からないところや不安なところはグループ内で確認し合うなどの学び合いを通して、正しい技法でスナップ付けができるようにする。

(3) 本時の道徳との関連

2 - (5) 自他の尊重

(4) 準備

縫い糸, 縫い針, 布, チャコペン, スナップ, 説明書, 自己評価カード

(5) 展開

◎言語活動を進めていく上での留意点 ㊦は上位生徒, ㊧は努力を要する生徒への手だて

学習活動・内容	支援・指導上の留意点
1 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">オリジナルケースを作ろう ～ポケット部分にスナップを付けよう～</div>	・これまでの学習を振り返り, 本時の製作目標(スナップ付け)を確認する。
2 スナップの役割を知る。 ・Yシャツなどのカフス部分 ・バッグの口の部分 などの留め具。 3 スナップの付け方を確認する。 ・上前・下前を理解する。 4 オリジナルケースのポケット部分にスナップを付ける。 〈製作方法〉 ① スナップを付ける位置にチャコペンでしるしを付ける。 ② 針に糸を通す。 ((糸の長さ: 40cm, 2本取り) ③ 上前・下前を確認する。 ④ 手順に沿ってスナップを付ける。 5 本時のまとめをする。	・どのようなところにスナップが用いられているか写真で提示し, スナップの役割について知らせる。 ・教科書 p. 115 にある「スナップの付け方」を確認後, 説明を加えながら実践映像を見せ, スナップの付け方について理解を深められるようにする。 ・実際に自分の布にスナップを当て, 上前・下前を確認する。 ◎ペア学習を通して, 互いに確認し合い, 学び合いながら作業を進められるようにする。 ・上前と下前が合っているか, 互いに確認し合うよう指示し, 机間指導をしながら点検する。 ・縫い糸は2本取りで準備し, 糸が長すぎると絡まりの原因になることを伝え, 糸の長さは肩幅程度にするように指示する。 ㊦パソコンを用意し, 必要なときに実践動画を見て確認できるようにする。なかなか作業が進まない生徒には, 手元で作業工程を見せる。 ・製作方法と手順を確認し, 安全に能率よく作業が進められるようにする。 ㊧スナップを正しく付け終わった生徒は, 次の作業工程に移るよう指示する。 評) 正しい技法で, 適切にスナップを付けることができる。(観察・作品) ・スナップがほつれたときには, 自分で補修ができるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">スナップ付けの技法を習得したことで, 衣服の補修の手立てとすることができる。</div>	
6 次時の学習課題を捉える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">ミシンやアイロンを適切に扱い, 「タブ」をつくろう。</div>	・本時の内容を振り返り, 自己評価カードに反省を記入するようにする。